

Rotary 

国際ロータリー
第2620地区

御殿場
ロータリー
クラブ **週報**



御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

<http://www.gotemba-rc.gr.jp/>

第2502回 例会プログラム

- 例 会 場 / 東山荘講堂
- 開 会 点 鐘 / 12 : 30
- ロータリーソング / 四つのテスト
- 国 歌 斉 唱
- 内 容 / 平和と紛争予防 / 紛争解決月間に因んで
陸上自衛隊 富士教導団長
陸将補 古田清悟様

会 員 慶 事

- 会員誕生日 / 2月4日 鎌野 篤志君
- 夫人誕生日 / 2月6日 渡辺修司君 ご夫人 弘美様
- 結婚記念日 / 2月3日 稲葉博之君 咲子様 ご夫妻
2月3日 内海宣彦君 良様 ご夫妻
2月4日 小野寛幸君 玉枝様 ご夫妻
2月7日 戸栗太平君 久美子様 ご夫妻
- 皆 出 席 / 1月25日 渡辺修司君 (ロータリー歴9年)
1月30日 橋本喜市君 (ロータリー歴21年)

会 長 挨 拶

勝 又 洋



雪の後、強烈な寒さが御殿場地区を襲っていますが、どうか夢中になって雪かきなどせずに体力を温存して下さいませ。ご迷惑をおかけしますが、どうぞよろしくお願い致します。

世の中インフルエンザもかなり流行しているとの事、旅行業界でもそれに関わる旅行の取消が毎年問題になります。新聞あるいは旅行のパフレットなどに載っているいわゆるパック旅行（正式には旅行会社が企画し募集するもの）では、必ず旅行条件に取消料というものが記載されています。ご存知の通りインフルエンザに罹患すると、学校などでは最低5日以上出席禁止という処理がなされ、旅行会社からは病気により旅行に耐えられないと認められるときに旅行契約の解除がなされる事があります。その中で、インフルエンザにかかったから旅行には行けない、取消料を請求されるのはおかしいと言う主張がお客様から出るようになります。残念ながらこの様な取消、又旅行会社側からの解除に関しては、お客様個人の健康管理の問題ですから取消料の負担は発生します。

これから3月にかけてアジア方面は旅行シーズンとなります。どうか健康管理にはお気をつけてご旅行に備えて下さる様お願いします。



1/25の出席報告

会員数	出席計算に 用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
60名	53名	42名	79.25%	100%

*やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。

欠席者(11名)

堀口廣司君・神谷高義君・勝又 厚君
勝又博文君・長田富夫君・齊藤礼志君
齋藤 保君・芹澤正明君・芹澤隆博君
豊山 篤君・若林洋平君



ROTARY :
MAKING A DIFFERENCE
ロータリー : 変化をもたらす

次 回
2月8日の
例 会

★東山荘講堂 ★12:30点鐘
★写真と短歌で綴る 東日本大震災特別派遣記録
静岡県御殿場警察署長
静岡県警視 鈴木宏哉様

職業奉仕の世界観



RI2620地区職業奉仕委員
宮城島敏文様
(清水中央RC所属)

「職業奉仕」は、5委員会の中の「奉仕プロジェクト委員会」に所属し、小委員会として配置されました。この改革は、2005年頃からクラブ・リーダーシップ・プラン（CLP）に基づいてのロータリー改革の一つとなっています。このプランが示された直後から日本のロータリアンは、「職業奉仕」について何らかの違和感を感じはじめ、ロータリーの組織と活動に一歩退いた感覚を持たれたようです。また、昨年1月10日のロータリーの友に掲載された本田博己氏の『職業奉仕はロータリーの根幹か？』の原稿を読まれて、多くの日本のロータリアンが「職業奉仕」の組織に疑問を投げかけたと思います。日本の多くのロータリアンは、「ロータリーに職業奉仕ありき」という事で活動してきたにもかかわらず、「CLP」により奉仕プロジェクトの小委員会の奉仕委員会となり、「ロータリーの根幹」であったはずの奉仕委員会が、一瞬のうちに消えてしまったような錯覚を覚えたのではないのでしょうか。それは職業奉仕と言

う言葉にまどわされ、日本文化と日本人特有の職業倫理の深みにはまったからではないでしょうか。「職業奉仕」は、ロータリーの奉仕哲学の一つですが、ロータリー入会経歴の間もないロータリアンにとって、職業奉仕という言葉に惑わされ、理解に苦しむ委員会だと感じておられるかと思いません。また、職業奉仕の活動内容に至っては、活動の進めかたが解らず大きなベールに包まれたままで、前年期の事業計画内容と同様な活動を進めていると言う事も聞きました。

日本のロータリアンの中には職業奉仕のとらえ方を、「職業奉仕はロータリーの根幹です。」と言っている方が多いようです。このフレーズは、ロータリーの「奉仕の理念」のアーサー・フレデリック・シェルドンが残した、「He Profits Most Who Serves Best.」の経営哲学と、日本の文化・日本人の商人道における職業倫理との接点が大きく影響したことだと思います。

海外での職業奉仕についてどの様なとらえ方をしているのでしょうか。海外では、日本国内とは異なり、単純に「Vocational Serves・奉仕の一つ」として捉え、ロータリアン自らの職業を通して奉仕活動をおこなっています。

R1発行の「職業奉仕入門」に活動手引きが掲載されており、職業奉仕に対する実践方法や具体例が紹介されております。いずれも職業を通じての奉仕であり、自らの職業に対しての奉仕と、職業を通しての外部との奉仕です。ぜひ、入門書を読んで頂き職業奉仕を振り返ってみて下さい。

1/11のメーキャップ

1月9日	E クラ ブ	池谷正徳君
1月10日	長 泉 R C	林 準君
1月10日	長 泉 R C	山内強嗣君
1月11日	E クラ ブ	若林洋平君
1月16日	静 岡 北 R C	渋谷 一君
1月17日	長 泉 R C	林 則夫君
1月17日	長 泉 R C	長島和彦君
1月17日	長 泉 R C	鈴木榮一君
1月21日	E クラ ブ	秋田 敬君
1月23日	E クラ ブ	勝又英男君



司 会
池谷正徳君



ソングリーダー
大胡田明寿君



出席報告
長島和彦君



会員誕生日
勝又安彦君 山崎伊久雄君 大胡田明寿君

